

# 畜産試験場だより

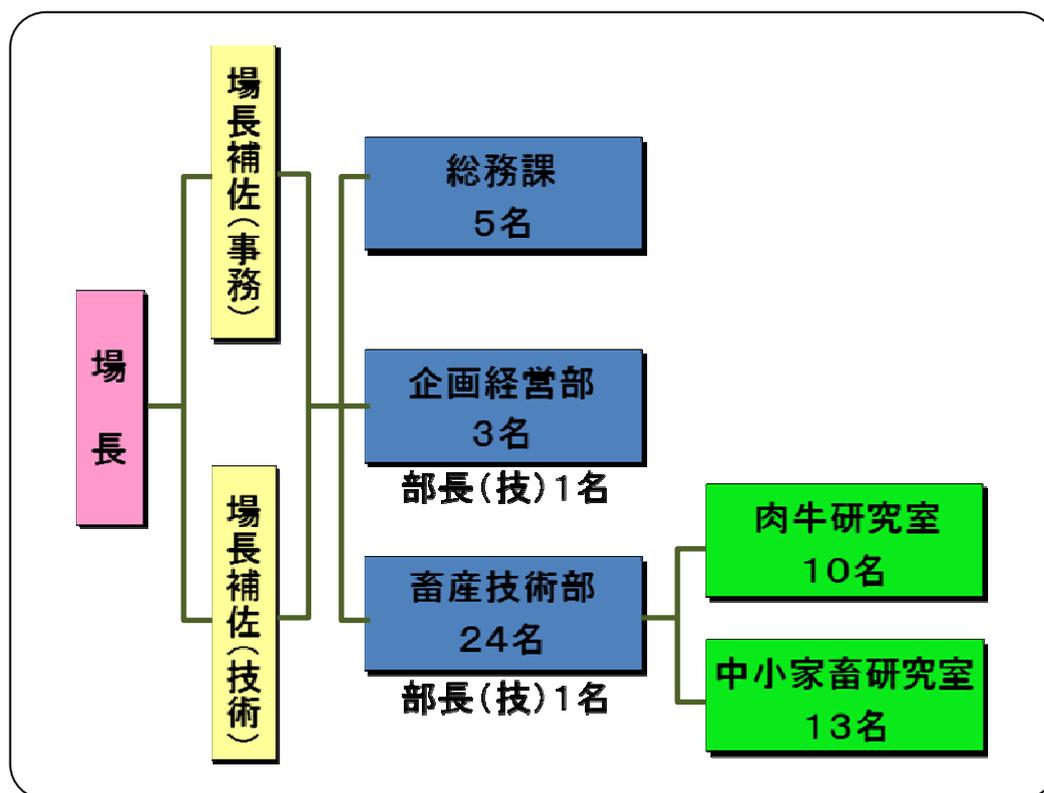
No.45

## 《畜産試験場の新しい業務推進体制》

本年4月、酪農試験場のバイオガスプラントが運行を開始し、これを契機に、畜産環境研究室が一部の研究課題を残し、酪農試験場に移転しました。

このため、当場は今年度から、下図のような1課2部2研究室体制で試験研究を推進していくこととなりましたので、よろしくお願いします。

なお、今後の畜産環境研究室に関するお問い合わせは、害虫防除・臭気対策を除き、酪農試験場（0287-36-0768）が窓口になります。



## CONTENTS

- 1 平成20年度の試験研究課題について
- 2 鶏コクシジウム症対策について
- 3 家畜のアニマルウェルフェアについて



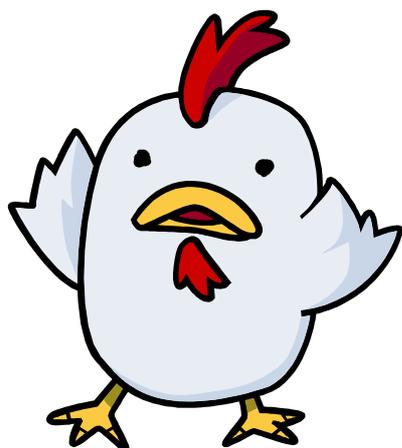
烏骨鶏

## 平成 20 年度の試験研究課題について

畜産試験場では、本県農政の基本指針である「とちぎ“食と農”躍進プラン」に掲げた本県農業・農村のめざす方向や基本目標の実現に向けて、生産現場の課題や消費者・実需者のニーズに対応しながら、生産者等に直接活用される実用化技術の開発や基礎的な調査研究を行っています。研究課題の「選択と集中」を図り、今年度は新規に「未利用地等利用の放牧飼養管理省力化技術の開発」と「豚のストレス低減飼養管理技術の確立」を加え、下表の 13 の実施戦略課題について試験研究を実施しています。

No.	実施戦略名	共同研究の有無	研究室	試験期間	
				開始	終了
1	新技術を活用した効率的畜産経営の確立に関する調査研究		企画経営	2006	2010
2	超高能力牛（スーパー和牛）由来の繁殖雌牛における能力評価と優良後継牛の選抜		肉牛	2006	2008
3	肉用牛における遺伝子情報利用技術の開発	宇都宮大学	肉牛	2006	2008
4	微量栄養素の機能性利用による黒毛和種子牛のほ育育成向上技術の開発	京都大学	肉牛	2006	2008
5	超音波を利用した肉質診断技術の確立		肉牛	2006	2008
6	飼料構成の違いが黒毛和種去勢牛の脂肪質・食味に及ぼす影響の分析	畜草研 茨城県 群馬県 千葉県	肉牛	2005	2009
7	ビタミンC 給与が黒毛和種去勢牛の発育及び肉質に及ぼす影響の分析	京都大学	肉牛	2006	2008
8	未利用地等利用の放牧飼養管理省力化技術の開発		肉牛	2008	2010
9	生産現場のニーズに応える高品質ランドレース種豚の開発		中小家畜	2007	2010
10	豚のストレス低減飼養管理技術の確立	宇都宮大学	中小家畜	2008	2011
11	「栃木しゃも」の近交退化の改善		中小家畜	2007	2009
12	資源リサイクルを考慮した簡易・低コスト脱臭システムの開発		中小家畜	2005	2008
13	ハエの I P M 防除体系の確立		中小家畜	2002	2010

## 鶏コクシジウム症対策について



当場では、数年来ヒナを配付していますが、配付先の平飼い養鶏農家から鶏コクシジウム症についてよく相談をされることがあり、生産現場では深刻な問題であることがわかります。

鶏コクシジウム症は、鳥インフルエンザのように届出義務のある疾病ではありませんが、寄生虫（原虫）による腸炎を主な症状とし、やがては産卵性・産肉性の低下、重症例では死に至る厄介な疾病です。一度農場に入ってしまうと感染鶏の糞が汚染源となるため感染経路を断ち切ることが困難です。

現場で実施できる対策は次のとおりですので実践してください。

**感染源対策**：鶏舎専用の長靴を使用し、外から持ち込まない。

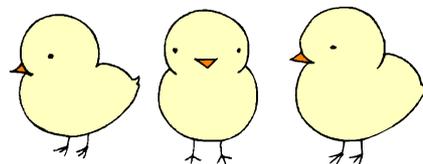
**除糞と鶏糞の堆肥化**：飼養羽数が少ない場合は高床（スノコ式）などにして鶏が糞を摂食しない工夫が必要です。数羽の初生ヒナには野菜用コンテナが利用できます。また、堆肥化により熱を加えます。常温では1年間と言われる感染力にも、60℃では1時間で効果があるとされています。なお、鶏糞は乾燥しやすいので、堆肥化する際には乾き過ぎないように、適宜水分を加えることが肝要です。

**消毒**：オルトジクロロベンゼン製剤（ハエ幼虫駆除用に市販されています）を使用します。汚染器具類は2日以上浸漬します。ただし、かなり臭いので飼養中には使えません。

**ワクチン**：一般的なワクチンとは違い、病原性の強い株に感染する可能性が高い場合に、ダメージを少なくする目的で先に感染させる方法です。したがってリスクを伴います。大規模経営や汚染された場所で飼育することが避けられない場合以外はおすすめできません。

**治療薬**：次のような問題があるため注意が必要です。

- ・採卵鶏には投与ができない。
- ・似た疾病の壊死性腸炎である場合は、鶏コクシジウム症の治療薬により症状を悪化させてしまう。
- ・ある時期の原虫にしか効果がなく、感染は繰り返される（治らない）。
- ・ポジティブリスト制の観点からも、残留の可能性がある。



上記の対策のほか、羽数にかかわらず**オールイン・オールアウト**（一度に導入して一度に出荷する）して、**空舎期間**を長くとることがポイントです。

（中小家畜研究室 手塚 典子）

## 家畜のアニマルウェルフェアについて

近年、EU を中心に、「動物が苦痛や不快を感じずに、それぞれの種が持つ本来の行動欲求が満たされるような状態で扱うこと」、すなわち「動物福祉」（アニマルウェルフェア）という考え方が広まってきています。具体的には、採卵鶏のケージ飼育の禁止、豚の分娩時を除く群飼育の義務化等の取り組みが行われています。

また、国際獣疫事務局（OIE）においてもアニマルウェルフェアに関する基準の検討が行われ、2005年には輸送やと畜に関するガイドラインが策定されました。

この流れを受けて日本では、平成17年度から有識者及び関係者を集めて勉強会や検討会を行っています。その中で、「今後のわが国におけるアニマルウェルフェアへの取組方向の基本的な考え方として、欧米の取組をそのまま取り入れるのではなく、我が国独自のアニマルウェルフェアを構築していく必要がある。」とあります。

また、平成22年度までに各畜種においての飼養管理指針を示すこととなっており、豚及び採卵鶏については今年度、ブロイラー及び乳用牛については来年度、肉用牛及び馬については再来年度に飼養管理指針の最終案が示される予定となっています。

これまでの検討会、勉強会の詳細及び今後の検討結果については社団法人畜産技術協会のホームページに掲載されていますので御確認ください。

<http://jlta.lin.go.jp/chikusan/aw/aw.html>

国内の事例では、長野県において、松本家畜保健衛生所が、資源循環型畜産と家畜福祉の2つの基準について制定した「家畜にも人にも優しい信州コンフォート畜産認定基準」を定め、生産者、畜産関係者、行政及び消費者の理解醸成のため取り組んでいます。



（中小家畜研究室 渡邊 哲夫）



畜産試験場だより No.45  
平成20年5月26日 発行

栃木県畜産試験場

〒321-3303 芳賀郡芳賀町稲毛田 1917

:028-677-0301 e-mail:chikusan-s@pref.tochigi.lg.jp

HP: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/tikusi.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。 農作業機械の操作には細心の注意を払いましょう。